

# いまこそ 伝統工芸と 暮らそう

ひと昔前、伝統工芸品は人々の暮らしに欠かせないものでした。今では普段使いをする家庭も減ったように感じますが、実際に使ってみると、理にかなった使いやすさや、風土に合った機能、それを生み出す職人の技の素晴らしさに気付かされます。地域の素材を生かした伝統工芸品は、人々の暮らしの中で使われ、生き生きと輝き、日々の暮らしに潤いを与えます。今回は、県内で作られる数々の伝統工芸品の中から、一部を紹介します。

11月2日(金)～4日(日)、  
第35回伝統的工芸品月間  
国民会議全国大会 福岡大会  
～KOUGEI EXPO～が開催されます。  
この機会に、卓越した技と  
地域が生み出した機能美を  
暮らしの中に取り入れて  
みませんか？

街中でスマホをのぞき込む。「博多献上」があしらわれた博多織もこんな光景になじむ伝統工芸品として新しいスタイルが提案されている

福岡の伝統工芸品を  
身近なシーンで



経糸と緯糸がリズムカルに織られていく工房。博多織が生まれる現場は活気に満ちています



「伝統は革新の連続。最新の技術があつてこそ継承されていきます」と、博多織工業組合副理事長の讀井勝彦さん

博多織 Hakataori  
はかたおり



トートバッグやブックカバー、スマホケースも。いつでも持ち歩きたい博多織製品の数々

今年777年の歴史  
世界に誇る伝統を日常に

「伝統は革新の連続。最新の技術があつてこそ継承されていきます」と、博多織工業組合副理事長の讀井勝彦さん

「文禄・慶長の役」の後、豊前国・小倉藩によって福智山麓に窯が開かれました。400年以上の歴史を持つ上野焼は、江戸時代初期に茶人・小堀遠州が愛した茶陶として「遠州七窯」の一つと全国に伝えられます。多彩な色合いと格調高い器が人気の上野焼ですが、身近な「食」の現場で生かしたいと奮闘している店もあります。福岡市東区のレストラン「mamagoto」では、コース料理の全

博多織工業組合 ☎092-409-5162 ファクス092-409-5086



歴史をつなぐ想いが  
おいしい笑顔の皿となる

力強い土の皿が大胆な表現を演出します



てを上野焼で提供します。食事を楽しむイメージを共有して5つの窯元と作った皿と器は、3種ずつ15種類にも。季節の移ろいを楽しむように皿の上の盛り付けも日々変わるそう。地元の食材を生かしたフレンチが描かれる上野焼、歴史をつないでおいしい笑顔に変えていく新しい舞台が始まっています。

☎mamagoto 福岡市東区宮松3-12-20  
☎ファクス092-629-8272  
☎上野焼協同組合 ☎ファクス0947-28-5864

使う、なじむ。  
暮らしの中の伝統工芸品

掛川 Kakegawa  
かけがわ

座布団やランチョンマットなど、小物のニーズにも応える



日々の香りとくつろぎ  
モダンな「イ草スタイル」

暮らしの中にイ草のあるスタイルを提案する掛川

イ草そのものをギュッと、長い茎のまま重ねるように緻密に織り上げる掛川。少ない経糸の線がデザインにリズムを刻みます。使用するのは高さ160cm以上ある立派な九州産イ草のみ。夏に刈り取ったイ草を泥染めして乾燥し、必要な色に手染めしてさらに乾燥。こうして収穫から約1年後にようやく掛川の素材として使うことができます。柳川、大川、大木など筑後の夏を彩ってきた伝統工芸品は、織り上げられたデザインが多彩に空間を演出。爽やかな香りも心地よく、床に敷けば夏は涼しく、冬は温かくくつろぐことができます。



「九州のイ草は茎がしっかりとっていて高品質です」と語る掛川職人の石橋勝義さん。デザイナーとしても作品を発表している

福岡県花笠協同組合 ☎0944-32-1010  
ファクス0944-32-1363  
協力: いぐさブティック草 大川市中木室23-1  
☎ファクス0944-87-7432

何十年と使えて  
味わいが増す生活用品



生活に寄り添い、使うほど魅力を増す

棕櫚箒は日常使いこそふさわしい生活用品。ヤシ科の常緑樹であるシュロの皮をさばき、水洗いしてほこりを落とし、また乾燥。その工程を何度も繰り返して、手作業で仕上げた箒は美しく滑らか。まずは座敷で使い、次に板の間で、古くなった土間や庭先でと、20〜30年は使い続けられるといえます。細くしなりのあるシュロの繊維はほこりやペットの抜け毛を吸い付けるのでフローリングにも最適。シュロの油分でつやも出るそう。使うほどに味わいが増すので、暮らしの中で愛着も湧いてくる掃除道具です。

福岡浮羽棕櫚箒保存会 ☎0943-77-2212 ファクス0943-77-7811

棕櫚箒 Shuro Boki  
しゅろぼうき

八女市の旧寺崎邸での掃除風景



八女市の旧寺崎邸での掃除風景

伝統工芸品を  
作ろう!

津屋崎人形「モマ笛」



講師を務めたのは「筑前津屋崎人形工房」の原田翔平さん。素朴な人形に触れる子供たちと笑顔で対話した

親子の触れ合いの中にも伝統工芸品を。「津屋崎人形」は素朴な素焼きの人形で力強い色彩が特徴。夏休みには福岡県庁において、縁起が良いとされるフクロウの形をした「モマ笛」の絵付け体験も行われました。

福岡筑前津屋崎人形工房 ☎ファクス0940-52-0419



ものづくりを地域の未来へ

販売店に聞く

「うなぎの寝床」代表取締役  
しらみずたかひろ  
白水高広さん



「うなぎの寝床」では暮らしに役立つ各地の伝統工芸品を取り扱う他、メーカーとして久留米餅のもんぺも販売

伝統工芸品が生まれる土地と人  
共感が経済を回していく

八女市に残る白壁通りの界隈にある「うなぎの寝床」。筑後地方を中心に、福岡や近県の伝統工芸品を現代の暮らしに提案するアンテナショップとして人気です。昔ながらのものづくりを行う作り手も多い八女のまちで「作り手と使い手がつながる場所を作りたかった」という代表の白水高広さん。「ただモノを見せるだけではなく、その背景にある土地や人の技術や想いを伝える

ため、店が媒体になると  
いうことを  
考えています」。この店が担う役割や描く未来図に、伝統工芸品を長く継承するヒントがありそうです。

「伝統工芸品は、育まれる土地と人の間に歴史や文化があるので情緒的に語られますが、切実な後継者不足などもほぼ経済的な問題によるものです。私は生活や社会の中で伝統工芸が生かされて経済が成り立てば、文化や風土の継承はできるー伝えるべきはものづくりの源流で、筑後という土地の背景、元々住んでいた人たちがどう関わったものづくりが始まったかなどの歴史的な部分。そこに加わる作り手の技術や思想といった物語を丁寧に掘り起こすことが重要だと思っています」。

物語への共感がモノの価値をきちんと伝えるカギ。「そのために使い手には、自分ごと」として関わってもらおう機会を増やすのが重要で」と白水さん。「例えば織元さん



近くの旧寺崎邸では全国の工芸品を生活に提案。産地ごとの器を見るだけでも刺激的



「うなぎの寝床」 八女市本町267  
0943-22-3699

変わらないために  
変わり続ける

日々の食生活には、木の特徴を生かした優れたものをー博多曲物は、筥崎宮の祭事に関わりながら400年もの歴史を持つ伝統工芸品。従来は若杉山の杉を使ったとされる地産地消のもので、お湯で板を曲げて形を整え、桜の皮でとじて作られます。炊いたご飯を入れれば通気性の



「使ってもらって喜んでもらえることが元気の素」。職人として喜びを教えてくださいました柴田さん

良さに加えて消臭効果も。板目に刻まれた年輪はそれだけで癒し効果もあるそう。

職人に聞く  
「博多曲物 玉樹」曲物師  
柴田玉樹さん

工房は木型や道具に囲まれて、熟練の技術を感じることができる



「昔ながらの基本を踏まえた新しい自分の発想が必要」とチャレンジから生まれたワインクーラー(右上)と米粒の形をした弁当箱(右下)。二合お櫃(左下)の奥は三段重(左上)

伝統を守り、  
伝統をつなぐ  
基本の上に時代を重ねる

博多曲物 玉樹  
福岡志免町別府西2-2-16  
092-935-5056  
ファクス092-935-5205



曲物はお櫃や弁当箱、お重などが定番です。「当たり前前の曲物をしっかり作れて、初めて時代を担えるチャレンジができる」と18代目の柴田玉樹さん。「生活の器として手頃な価格に。手に取ってもらおう道具であることが大事なんです」。何十年も生活を共にする道具として使える価値観を常に意識しています。

第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会 福岡大会～KOUGEI EXPO～  
11月2日(金)▶4日(日) メイン会場:マリンメッセ福岡

伝統的工芸品への理解と普及を図ることを目的とした「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が、30年ぶりに福岡県で開催されます。今年は「博多織伝来777年」、「久留米餅考案者(井上伝)没後150年」などの節目を迎える年で、県内の博多織、博多人形、久留米餅、小石原焼、八女福島仏壇、上野焼、八女提灯といった7つの伝統的工芸品のみならず、全国から伝統工芸品が一堂に会し、技の実演・体験コーナーも予定されています。ラグビーワールドカップ2019日本大会、東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、福岡県から伝統的工芸品の素晴らしさと伝統文化の魅力を国内外に発信し、今後の産業振興につなげていきます。

福岡県観光政策課 092-643-3454 ファクス092-643-3431 詳しくは KOUGEI EXPO 検索

卓越した技と日本の美  
平成30年 伝統的工芸品月間国民会議 全国大会 in 福岡  
平成30年11月2日(金)～4日(日)